

# 2014 年度事業報告

公益財団法人阿蘇グリーンストック

## 一、各事業報告

### 1 自然保全事業（公1）

#### 【草原保全活動】

#### （1）野焼き・輪地切り支援活動

秋の輪地切り及び輪地焼きの支援活動、そして春の野焼き及び輪地切りの支援活動については軽微なものはあったものの大きな事故は無く概ね無事に終了しました。11月の全国草原サミット・シンポジウム in 阿蘇では、草原の価値などについて検討され草原再生に向けての気運が益々高まっています。

#### ① 輪地切り・輪地焼き支援活動期間 2014年8月～12月

蔵地牧野（高森町）の野焼き再開に向けた輪地切りを含め天候の関係で12月まで活動があり、また中岳火口噴火による降灰の中での支援も行われ58カ所延べ1,007人の参加がありました。各牧野では機械による防火帯の整備も進められ一部作業の軽減化も多少影響し、また、冬野牧野、日の尾牧野等多人数を要した牧野の支援要請がなかったこともあり今回は昨年実績を延べ人数では下回っています。

<支援活動一覧表 10 ページ参照>

#### ② 野焼き支援活動期間 2015年2月～4月

野焼き再開に向けた草千里周辺の黒川牧野の防火帯整備、蔵地牧野及び黒川牧野の野焼き再開を含め、61カ所 延べ969人の参加となりましたが、日の尾（阿蘇市）、冬野（高森町）の野焼き中止や度重なる雨による野焼きの延期なども影響し昨年実績を下回る結果となっています。

<支援活動一覧表 11 ページ参照>

#### ③ 牧柵補修支援活動

下礮牧野(南阿蘇村)	10名参加
町古閑牧野(阿蘇市)	11名参加
村山牧野(高森町)	6名参加

#### （2）研修会の開催等

野焼き・輪地切り支援活動を安全に進めて行くために、数回に亘る安全講習会、リーダー全体会、初心者研修会の実施などに取り組んできました。

ボランティア活動を円滑に進めるために開催した主な会議・研修会は下記のと

おりです。

① **野焼き支援ボランティアリーダー全体会の開催**

秋の活動前後に2回、春の活動前後に2回それぞれ開催し活動に向けての安全面での検討、終了後は反省点を含め今後に向けての意見交換会を年間計4回開催しました。

第1回（2014.4.26） 参加者 32名

第2回（2014.8.23） 参加者 38名

第3回（2014.12.20） 参加者 36名

第4回（2015.1.31） 参加者 45名

② **刈払機安全講習会の開催**

集団作業を行うにあたって、機械の使い方はもとより、作業中の安全対策を中心に研修会を開催しました。

第1回（2014.8.31） 参加者 33名

第2回（2014.9.6） 参加者 18名

③ **野焼き支援ボランティア初心者研修会の開催**

今回より体験実習を除いた1日のプログラムで研修を実施しました。研修受講後に実際の野焼きにほとんどの方が参加申込をされましたが、延期で中止などもあり3割弱の方が野焼きを体験出来ずに終わっています。

第1回（2015.2.8） 参加者 65名

第2回（2015.2.11） 参加者 79名

第3回（2015.2.14） 参加者 48名

④ **リーダー養成研修会**

2年間で年5回以上活動に参加し現リーダーより推薦を受けた方が、リーダーになる権利を有し新しくリーダーとして現場の取りまとめをするにあたっての研修、また緊急時の対応及び安全対策などについて受講して頂きました。

第1回（2015.7.13） 参加者 8名

⑤ **野焼き後継者育成研修**

蔵地牧野、上在牧野、村山牧野（高森町）、町古閑牧野（阿蘇市）、長野牧野（南阿蘇村）の5牧野でそれぞれ2名の若手10人を対象に火引きの育成研修会を実施しました。全体での意見交換会の後、財団トラスト地での実習を経てそれぞれの牧野で地元指導により実習を行いました。地元では年1回だけの作業もあり、なかなか火引きの後継者を育成する機会もなく、今回牧野毎の火引きマニュアルを作成し牧野間の協力を経て研修会を開催することにより後継者育成に大きな成果をもたらしました。

⑥ **輪地切り研修会（ボランティアリズム）**

旅行を兼ねて都市部より輪地切りの研修会に参加することで、今後草原保全活動及びボランティア支援活動に協力して頂くことを目的としています。今回は関東より21名の方が参加されました。

### (3) 活動時のボランティア宿泊支援

活動時のゆたっと村宿泊に関しては低価格にて提供し、遠方より参加していただけるようにしています。一方で、地元牧野組合の協力により公民館での宿泊もできるようになりました。

#### 【森づくり活動】

3企業・団体と協力して下草刈り活動の取組みを行いました。

- ① 4月20日 (阿蘇市) 西稜の森下草刈り 15名
- ② 9月27日 (西原村) (株) 富士通九州システムズ 106名
- ③ 10月25日 (阿蘇市) コカ・コーラウエスト (株) 41名

#### 【普及啓発活動】

- ① 野焼き支援活動の情報発信及び普及・啓発、広がりづくりの取組みで「草原だより」を年4回(60、61、62、63号)発行し、個人・団体会員へ活動報告を含めた情報発信を行いました。
- ② 草原保全の取組みの紹介や視察団体へのセミナー等を行いました。
 

5月20日	奈良大学	4名
9月27日	福岡女子大学	26名
10月29日	熊本市錦が丘中学校	4名
11月6日	韓国	12名
12月1日	コスタリカ	10名
12月10日	トトロの森基金	2名
- ③ 第10回全国草原サミット・シンポジウム in 阿蘇では、阿蘇地域でグリーンストックが取り組んでいる野焼き支援活動について全国に紹介することが出来ました。11月22日の草原関連オプションツアー、23日のシンポジウム、24日の5つの分科会を含め3日間で延べ740名の参加がありました。

※ 公1事業収支決算は以下の通りです。

科目	金額	備考
活動会員受取会費	1,902,500	野焼きボランティア会費
自然保全事業収益	20,874,543	初心者研修、機関誌購読、下草刈り、環境省、緊急雇用、講師料
ゆたっと村利用事業収益	60,100	ボランティア活動時の宿泊費
補助金等	7,247,609	阿蘇草原再生募金助成金(350万) 多面的機能支払(198万) 都市農村交流(156万) DC(20万)
受取寄付金	745,736	個人、草原ハンバーグ、牧野企業他

雑収益	287,690	
収入合計	31,118,178	

人件費計	17,101,813	
物件費計	20,392,869	
支出合計	37,494,682	

(収入) 31,118,178 円 - (支出) 37,494,682 円 = △6,376,504 円

## 2 自然体験・農業体験学習事業（公2）

### (1) 農村体験型修学旅行受入事業（ファームステイ）

子どもたちが一般の農家に民泊し、阿蘇の農村での生活や様々な農業体験を通して農業・農村の大切さを学び、自然や人とのふれあいを大切にした体験企画などで、青少年の健全な育成を目指しました。

今年度も昨年度に続き、阿蘇市、南小国町、南阿蘇村、高森町を加え約 150 軒の受け入れ農家の方々と共に、安全講習会・衛生講習会を経て中国、四国、関西、関東方面からの修学旅行 24 校 3,587 名の中・高校生の農村民泊及び農業体験学習などの受け入れを行いました。また、海外の中国から 1 団体 59 名の受け入れを行っています。

受け入れ実績は下記の通りです。

4月16日	水	三豊市立詫間中学校	香川	102
4月16日	水	多度津町立多度津中学校	香川	191
4月17日	木	学校組合立三豊中学校	香川	138
4月17日	木	三豊市立三野津中学校	香川	91
4月24日	木	坂出市立東部中学校	香川	82
4月25日	金	坂出市立白峰中学校	香川	168
4月26日	土	坂出市立坂出中学校	香川	129
4月26日	土	丸亀市立東中学校	香川	220
4月30日	水	観音寺市立観音寺中学校	香川	133
5月8日	木	丸亀市立南中学校	香川	281
5月10日	土	大阪市立茨田北中学校	大阪	219
5月12日	月	三豊市立豊中中学校	香川	105
5月13日	火	大阪市立此花中学校	大阪	193
5月15日	木	関東学院六浦高校	神奈川	74
5月19日	月	大阪市立梅香中学校	大阪	177
5月29日	木	川西市立東谷中学校	兵庫	321
5月30日	金	門真市立第五中学校	大阪	197
6月3日	火	松原第六中学校	大阪	143

6月11日	水	櫃石・岩黒中学校	香川	6
7月7日	月	奈良高校	奈良	85
9月9日	火	ユニバーシティー・カレッジ南九州	関西	6
11月8日	土	「JENESYS2.0」中国大学生訪日団第15陣	中国	59
11月9日	日	広島市立五日市中学校	広島	274
11月11日	火	広島市立三和中学校	広島	242
11月13日	木	広島市立似島学園中学校	広島	10

## (2) 環境教育及び農業体験事業

将来の阿蘇を担っていくことになる地元の子供たちをはじめ、都市の子供たち、また高校生、大学生、団体へ様々な自然・農業体験プログラム等作成し環境教育について取り組みました。

- ・9月25日 熊本県立大学生による輪地切り体験 94名
- ・9月26日 長崎市立大浦小学校 98名
- ・3月 「草原キッズ」地元小学生の草原体験学習  
(野焼き体験、火消し棒作り体験など)

## (3) ゆたっと村での体験事業

修学旅行生、地元団体、一般の方などを対象に、ゆたっと村里山交流館の周辺の農地、山林等を利用した里山の暮らしの体験として企画を行いました。今年度は、体験事業収入として大きな収入はありませんでしたが、一方で交流の場として下記の企画を行いました。

- ・椎茸コマうち(3月)、収穫体験(春、秋)
- ・もちつき(12月)、どんどや(1月)、
- ・畑の植え付けと収穫体験(3月～11月)等

公2事業収支決算は以下の通りです。

科目	金額	備考
村民受取会費	144,000	村民会費
自然体験・農業体験学習事業収益	11,802,399	小中高民泊・体験受け入れ、
ゆたっと村体験事業収益	68,000	もちつき、畑作業体験
収入合計	12,014,399	

人件費計	4,402,483	
物件費計	3,979,627	
支出合計	8,382,110	

(収入) 12,014,399 円 - (支出) 8,382,110 円 = 3,632,289 円

(受入校増加及び家業体験増加の為収入増、リーフレット印刷等費用減の為)

### 3 調査・研究事業（公3）

4年目となる北外輪地区湿地に於ける生物多様性保全実証事業に引き続き取り組んできました。また、これまでの経過報告と今後の調査及び実証事業について策定するための専門家委員会を開催しました。

- ① 草刈（6月11日）と刈草の運び出し（9月12日）による希少植物の保全実証試験
- ② 植生調査（8月12、19、21日）
- ③ 専門家委員会の開催他（5月27日、3月24日）

公3事業収支決算は以下の通りです。

科目	金額	備考
事業収益	687,200	生物多様性保全実証事業
収入合計	687,200	

人件費計	367,768	
物件費計	662,067	
支出合計	1,029,835	

(収入) 687,200 円 - (支出) 1,029,835 円 = △342,635 円

### 4 あか牛オーナーへのあか牛肉販売事業（収1）

阿蘇の草原を守るためには、阿蘇の草原を利用した畜産業の発展が最も有効な手段となります。あか牛オーナー制度が発足して10年目となりましたが、引き続き阿蘇のあか牛の増頭に向けた畜産農家への支援として広く県内外の方へオーナーへの参加を呼び掛けてきました。

- ① あか牛オーナー登録について

(一般オーナー)

平成26年度スタート時オーナー数 30名 (あか牛 31頭)

平成26年度新規オーナー数 16名 (あか牛 16頭)

(肥後銀行団体オーナー) 平成23年契約後変動なし

平成26年度スタート時オーナー数 196名 (あか牛 42頭)

受入牧野のエリアに関しては、南阿蘇畜産農業協同組合の協力もあり阿蘇市、南阿蘇村、高森町に及んでいます。また、オーナー代表者会議を年2回、名前書き交流会を年3回開催しオーナー制度の運営及びオーナーと受入農家との交流を図りました。

オーナー交流会実施 4月29日 34名参加 (10周年記念事業)  
 8月23日 53名参加  
 9月6日(肥後銀行) 30名参加

## ② あか牛肉販売

あか牛オーナー(30万円)に対する特典として、年間6万円分のあか牛肉を5年間提供するものです。近年あか牛肉の需要も高まっていることからあか牛肉だけではなくあか牛ハム・ソーセージ等の企画を充実させ販売増を目指しました。

収1事業収支決算は以下の通りです。

科目	金額	備考
活動会員受取会費	114,000	
事業収益	4,982,700	
収入合計	5,096,700	

人件費計	286,482	
物件費計	5,404,793	
支出合計	5,691,275	

(収入) 5,096,700円 - (支出) 5,691,275円 = △594,575円

(オーナー制度10周年企画の為、通信費等の費用増加、  
 また、あか牛肉高騰の中で販売価格を現状維持した為利益減)

## 5 食事提供及び農産物の販売等事業(収2)

あか牛肉の利用普及のためにホームページなどで広く宣伝して、ゆたっと村のバーベキュー事業の拡大を目指しました。又、農産品を生産し事業収入増を目指しました。一方で関係団体・個人などに働きかけて一般宿泊、団体宿泊、団体体験の誘客を進めてきました。

① ゆたっと村での宿泊、食事サービスを団体や個人に提供しました。

- ・ 宿泊、施設利用
- ・ バーベキュー等の提供

② 農産物販売事業に取り組みました。

農産物販売(ブルーベリー、栗、しいたけ、野菜など)  
 もち販売等

収2 事業収支決算は以下の通りです。

科目	金額	備考
事業収益	987,196	
収入合計	987,196	

人件費計	151,000	
物件費計	581,213	
支出合計	732,213	

(収入) 987,196 円 - (支出) 732,213 円 = 254,983 円

## 6 受託調査事業(収3)

「阿蘇草原再生野草地環境保全計画策定検討業務」(通称「牧野カルテ」)環境省阿蘇草原再生協議会会員で国立公園内の牧野組合を対象とした環境省による調査事業で、草原文化(草原の活用、地名、希少動植物等の調査)及び草原保全(野焼き作業軽減の為の防火帯整備等の調査)について調査を行ってきました。

収3 事業収決算は以下の通りです。

科目	金額	備考
事業収益	9,162,000	
収入合計	9,162,000	

人件費計	1,080,511	
物件費計	4,434,944	
支出合計	5,515,455	

(収入) 9,162,000 円 - (支出) 5,515,455 円 = 3,646,545 円

## 7 法人会計

・月次決算等、通常会計処理については引き続き公認会計士に委託して管理してきました。

法人会計収支決算は以下の通りです。

科目	金額	備考
基本財産運用益	400,000	
維持賛助会費	4,487,496	
収入合計	4,887,496	



人件費計	1,967,847	
物件費計	3,124,458	
支出合計	5,092,305	

(収入) 4,887,496 円 - (支出) 5,092,305 円 = △204,809 円

## 二. 2014 年度収支決算について

収支としましては、事業収入増に伴い消費税が予算を上回った結果、予算に対して 35 万円ほど下回り、15,294 円の当期経常増額となっています。

(収入) 63,953,169 円 - (支出) 63,937,875 円 = 15,294 円